

事業実施状況 指定管理者 自己評価票（ひな形）

施設名	国分寺市障害者センター
指定管理者名	社会福祉法人 万葉の里

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評価	理 由
収支計画の適確性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年度後半の収入は、退所（介護保険移行、通所先変更など）や入院等による利用率の低下の影響を受け減収であった。一方で支出については、コロナウイルス感染症の5類移行後は活動が通常に戻りつつあり、ほぼ予算取り執行している。
業務の履行状況の評価	協定等に基づき業務が実施されているか	3	国分寺市の障害福祉サービスが充実するよう、求められている役割を理解し、協定書に基づき遂行した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、「ハイリスク施設に準じる施設」に求められる対応を取りながら、外出や集合しての活動等に積極的に取り組んだ。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	協定通りに実施した。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員を配置し、法令及び協定書に基づき専門職である看護師を厚く配置し運営を行った。
	管理運営に必要な有資格者（防火管理者等）が確保されているか	3	管理運営に必要な有資格者（防火管理者）を配置し、適正に運営した。また、事業継続計画に基づきながら、5類移行後もハイリスク施設に準じる対応を適切に行った。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	法人で定めている文書管理規定を改定。それに基づき、書類は適正に管理し、保管処分を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	4	委託業者による清掃とともに、職員も定期的に清掃を実施し、清潔の保持に努めた。また、諸々の感染症の状況に応じて館内の消毒を実施した。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	法令上求められている点検を確実に実施した。
サービスの質に	利用者の満足度はどうか	4	利用者の満足度を図ることも含め「第三者評価」「利用者アンケート」を令和5年度も実施した。約8割の方より満足の評価をいただいた。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	利用者会議、利用者自治会、家族会等を対面で行い、利用者と意見交換をしながら企画立案、実施を行っている。また、給食の嗜好調査やリクエストメニュー等、利用者の希望を反映するよう努めている
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	3	「万葉の里で働くあなたへ」を活用し、支援のみならず社会人として求められることを示し、共有を図るとともに、必要に応じて個別に指導・育成を行っている。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	苦情解決委員会に上がる事案はなかった。日常的な意見や相談にはその都度応じ、できることは速やかに改善を図るなど、適切に対応した。
	個人情報が適切に取り扱われているか	2	個人情報保護委員会への報告事例が発生した。個人情報の取扱いについて課長会議を中心に見直しを行い、職員会議や各部の会議等で職員に周知を図り、再発防止に努めている。

関する評価	業務に必要な研修を実施しているか	4	資格（サービス管理責任者・相談支援専門員等）に関わる新任・更新研修を計画的に受講した。 医務研修については講師を依頼しての研修を年2回実施。喀痰吸引等3号研修については、基本研修4名受講、実地研修4名が修了。 また各部署で必要に応じて、外部講師を招いて事例検討や勉強会を行い、支援力向上に取り組んでいる。短時間勤務の介護人についても、e-ラーニングを活用しての研修とOJTを行った。
	合理的配慮等，障害者への対応は適切であったか	4	生活介護事業において、合理的配慮の観点から今年度は重点的に呼吸器装着の方の単独通所について取り組み、12月から月1回の単独通所試行を行っている。家族が同行している日に緊急時シミュレーションを繰り返し、様々な場面での対応について検討している。
	業務の改善を図ったか （※改善の指摘事項があった場合のみ記載）	3	モニタリング時に指摘された事項については、事業内で共有を図り、次に実施されるまでの間に改善を図り、その都度報告を行った。
施設の特性に応じた水準の評価	虐待防止の取組み	4	虐待が起こり難い職場環境を目指して、昨年度に引き続き「心理的安全性」をテーマに虐待防止研修をしている。管理職向け研修を1回、全職員向け研修を3回実施。
	人材育成の取組み	4	新入職員研修、資格取得・更新の研修等について法人全体で計画的に取り組んだ。 高齢化・重度化と、医療的ケアへの対応の強化として、外部講師による医務研修の継続や看護師による喀痰吸引研修のフォローアップの実施等、知識と技術の向上に努めた。えんじゅ介護人についても、介護人研修やOJT（必要に応じて太陽でのOJTを含む）を実施して人材育成と定着に努めた。 職員の体調不良（メンタルヘルスや腰痛などの身体の不調等）が発生した際には、早期介入して主治医・産業医の指示に基づいた復職プランを実施し、本人の体調管理と受け入れ現場の環境を整えて、再発防止に努めた。
総合評価		評価の理由等	
3	市の要求水準を満たしている	条例、指定管理協定、事業計画、収支予算書に基づき適正に運営を行った。サービスを必要とする市民が安心して利用できるようサービス向上に努め、更なる利用者満足度の向上を目指している。その一つとして、利用者の高齢化・重度化や医療的ケアを必要とされる方の受け入れ体制の強化に取り組んだ。特に看護師が1名増員になったことにより、普段の支援体制の充実だけではなく、職員の育成に注力できた1年となった。	
		評価者氏名　： 伊佐　素子	